

偏差値40から早稲田大学法学部に合格するための英語基礎勉強  
法

こんにちは、レポート作成者の有限会社CCT代表の岡田理史（マサシ）と申します。

今回は当レポートをダウンロードして頂きましてありがとうございました。  
このレポートは偏差値40からでも早大法学部をはじめとする難関私大に合格するための具体的な勉強方法を書いた無料レポートです。

ぜひご覧下さい

私が早大法学部に合格したのは97年ですが、常に最新の情報を仕入れているので情報が古くなる心配はありません^^

## センター試験英語対策（基礎固め編）

まず、英語の勉強で一番重要なことは何だと思いませんか？  
単語？ 文法？ 長文読解力？

色々意見があるとは思いますが、私は単語（熟語）力こそ一番重要だと考えます。理由は、単語力がなければ文法も長文も構文もわからないからです。

当たり前といえば当たり前ですが、まず単語の暗記が必要になります。単語力なくして文法も長文もありません。

単語を暗記といっても、ただ普通に暗記するのは大変な苦痛が伴う方が多いと思います。

そこで、速読英単語のように長文を読みながら覚えるのが一番効果的で、単語を覚えながら長文にも慣れることが出来る一石二鳥の方法を取るのが一番です。

ここで、英語の基礎が出来てないと感じる方は

速読英単語（入門編）Z会出版  
から始めましょう。

この本は中学英語の重要語、速読英単語必修編の見出し語のうち特に重要な基本語を厳選して紹介しているものです。英語基礎力に不安のある方はこれから始めるべきです。

ここで重要なのは、必ずCDも一緒に購入して、耳からも覚えるということです。仮に志望大学にリスニングがなくても購入すべきです。なぜなら、英語に慣れることにもなりますし、記憶の定着率がCDを使うのと使わないのとでは大きく違って来るからです。

そして、本を読む際は、まず重要語句を見て、知らない単語を先に紙に書いて暗記します。最初に長文を読んでも知らない単語が多くあったら、いちいち語句の意味を確認しなければならないので余計な時間がかかってしまい、非効率です。

先に単語を暗記してから、その後復習を兼ねて長文を読み込む。これを徹底してください。

進め方としては、最低でも1日5文くらいはやりましょう。このレベルであまり時間をかけるわけにはいきません。難しい単語はないので、これは出来るだけ早く終わらせましょう。

速読英単語入門編が終了したら、次は速読英単語必修編に入ります。

これは入試最重要語句が多数収録されているので、受験当日まで毎日やり込む必要があります。

長文は毎日読まないで、英語の感覚が鈍るので毎日読み込むのが重要です。

これも入門編と同じようにCDを併用して何度も何度も紙に書いて覚えてから、長文を復習として読み込んでください。

単語の暗記は紙に書くことです。これ以外にありません。何度も何度も紙に書く。これの繰り返しです。この際、多義語は必ず全て意味を覚えましょう。これを覚えていないと入試で痛い目にあう可能性があります。

この本は入試に出る頻度順に意味を並べているので、覚えやすく出来ています。単語の意味だけでなく、入試に出る語法のポイントも解説してあるので、丁寧に読み込みましょう

発音・アクセントで注意すべき語にはマークがあるので、必要がある方はしっかりやり込む必要があります。

#### ・単語暗記のポイント(復習)

まずは紙に何度も書いて覚える

次に文章中で復習を兼ねて再度覚える

CDを聞きながらさらに復習をする

多義語は必ず全部覚える

基礎単語についてはこの2冊で十分です。

次に基礎英文法対策です

英語が苦手な人はどこからやればいいのか迷ってしまっているのではないのでしょうか？

わからない人はわからないところから始める必要があります。場合によっては中学レベルから始める必要があることもあるでしょう。

中学レベルから始めるというと抵抗があるかもしれませんが、基礎を疎かにしては絶対に受かりません。超高速で中学レベルの復習から始めましょう。きちんと勉強をすれば十分に間に合います。心配せずに勉強しましょう。

心配している時間があつたら、1分でも勉強すべきです。「自分は受かるんだろうか...」なんて悩んでいる暇はありません。時間は待つてはくれませんよ！

悩む暇があつたらその不安を打ち消すためにも勉強あるのみです。

中学レベルからのお勧め参考書

私がお勧めしているのが、東進ブックスの安河内の英語をはじめからていねいに(上)改訂版と(下)の2冊です。

この本は本当の基礎の基礎から講義形式でわかり易く文法を説明しています。これならどんなに英語の苦手な人でもわからないということはないはず。速読英単語の勉強と平行して、両方を遅くても一ヶ月で終わらせるよう頑張っていきましょう！

ここは超基礎ですから、のんびりやっている暇はありません。

超高速で進めましょう。復習の仕方は後で書きますが、それを絶対守って完全に理解するようにしてください。

これが終わったら、同じ著者の英文法レベル別問題集1,2までやりましょう。これは主に高校入試レベルの問題が収録されていて、基礎確認には最適です。

繰り返しますが、ここまでは基礎中の基礎です。

ここに時間をかけている暇はありません。超高速で終わらせましょう。

速読英単語入門編、上に上げた文法対策は一ヶ月以内に終了させることが目標です。

速読英単語必修編は1日2文ずつくらいやって、入試直前まで毎日何度も復習を繰り返すのがベストです。

次に、英文法基礎対策その2です。

上記の問題集を終えたら、いよいよ本格的な文法対策に入ります。

その為に使用する参考書は

語学春秋社の「NEW 山口英文法講義の実況中継上・下」の2冊です。

この2冊を徹底的に理解しながら暗記して、何度も復習してモノにする必要があります。

この2冊が大学入試の文法の根幹を形成するものですので、ここはきちり理解する必要がありますよ！

そして、その後の問題集としてまず桐原書店の「即戦ゼミ3・英語頻出問題総演習」(通称・英頻)をやってください。

これは全て暗記するのが最低条件です。

ここまで来るのはかなりハードだと思いますが、単語熟語と同時進行でやる必要があります。

英頻は最重要問題集です。これは何度も何度も繰り返して本当に全て暗記するくらい覚えこみましょう。受験英語は少なくとも暗記が全てとっていいです。

単語、熟語、文法、構文... これらの暗記があつて初めて長文が読めます。

長文で知らない単語を文脈から類推する~というようなこともよく聞きますが、それでも単語を多く覚えていたほうがいいのは当然です。基礎単語力がないのに類推も何もありません。

基礎を身に着けるためにも何度も何度も復習して、徹底的に暗記しましょう！

## 効率的な復習法と問題集の使い方

ここで、効率的な復習法と問題集の使い方について説明します。  
まず、効率的な復習法です

皆さんは復習をする時どんなやり方で復習されていますか？

例えば、前日に問題集の1ページから20ページをやったとします。当然翌日は1～20ページの復習をしたいと思います。

そして、次は21～40ページをやって、また次の日に21～40ページの復習をしたいと思います。

でも、ここでもっと記憶に残る復習方法を提唱したいと思います。

それは、毎日1ページ目から復習するということです♪

どういうことかというと

21～40ページまでやった翌日も1～40ページまで復習、41～60ページまでやった日は1～60まで、61～80までやれば1～80まで...  
つまり、毎日1ページ目から復習をしようというわけです。

無理だ、そんな時間はないと思われるかもしれませんが。  
しかし、一度やったところは案外早く進むものです。

何度も何度もやっていけば、自然と頭の中に残るようになりますし、何度もやったところはそう時間をかける必要もないからです。

これに慣れてくれば物凄いスピードで参考書を回せるようになりますよ！  
特に基礎の段階の英文法、英単語はこれを徹底させることをお勧めします。

2度目以降は極端に時間をかける必要はありません。  
3度目以降ならなおさらです。

毎日1ページ目から復習するといっても、理解しているところは飛ばしても構いません。わからないところだけを集中して何度も読み返せばいいのです。

分からないところはマーカーで色をつけて、目立つようにしておきましょう。そして、分からないところの周辺を含めて、毎日毎日何度も復習します。

こうすると驚くほど記憶が定着しますよ！特に歴史科目などは絶大な効果を発揮します。もちろん英語もそうすべきです。

次に、効率的な問題集の使い方です。

皆さんは問題集をどのように活用されているでしょうか？

普通は問題集に答えを書き込んだりはしませんよね？何度も解きなおすために、答えを書き込んだりはしないと思います。

しかし、私は問題集に全て答えを書き込むことを提案します！

大学入試レベルでは全て暗記です。問題集の問題が何度も繰り返されて出題されるのだから、その答えを全て覚えてしまうというのは実はとても効率的なことです。

英頻を例にとってみると、空欄のところに正解の語句を書き込んでしまって、その文章ごと覚えてしまえばいいんです。覚えることによって、構文も身につくし、英作文対策にもなります。

答えを書き込むなんてとんでもないと思うかもしれませんが、暗記というのは本当に重要です。

これがわからないとなかなか成績はあがりません。

それに、答えを書き込めば何度も復習するのに時間がかからず効率的に勉強が進むのです。

暗記といってももちろん何も考えないで空欄を埋めればいいわけではありませんよ。きちんと解説を読んで、理解した後に書き込んで、何度も何度も復習して覚えましょうということです。

そこを勘違いしないようにしてくださいね。



と、ここまでが基礎単語と文法の対策です。

次に、熟語と構文対策です。 熟語も構文も英文の意味を理解する上では物凄く重要な要素ですので、しっかりやっていきましょう！

まず、熟語対策として

速読英熟語（Z会出版）がお勧めです。

これも、速読英単語と同じように長文中で覚えようというコンセプトのもとに生まれた熟語集です。これも速読英単語と同じように、できるならCDを購入して書いて、長文中で、耳で覚えましょう。

これ1冊で熟語は十分だと思います。

次に、構文です。

構文も重要ですよ～ 特に基礎構文は暗記する必要があります。

基礎構文を暗記することの意味は、長文対策もありますが、何ととっても英作文対策に最適だからです。

早大法や政経に出る英作文対策には、実はこの構文暗記が一番役に立ちます。英頻の例文暗記とともに、頑張ってやっていきましょう。

使用する構文集（どちらか使いやすいほう1つで十分）

解体英語構文（Z会出版）

英語構文150（美誠社）

どちらか使いやすいほうを選んで、構文を理解して覚えてしまいましょう

基礎に不安があるという方は、英語構文150の方が解説が詳しいので、そちらを選んだほうがいいかもしれません。

Z会の解体英語構文を選ぶ場合は、必ずきりとりカード式の法を購入して、覚えにくいところを切り離して電車内やトイレ内の細切れ時間を利用して、何度も何度も覚えましょう

これも先述した復習法で、空欄に答えを書き込んで何度も何度も暗記する必要があります。

ここまで来たら、次はいよいよ長文対策を始めましょう。  
最適なのはやはりセンターの赤本です。

これは基礎力を確認するには最適の問題集です。センターの長文の過去問を  
たっぷり解いてみましょう。これまでの基礎力がしっかりしていればほとんど  
正解できるはずです。

出来ない場合は、出来なかったところの復習をして、どこが足りないのか（単  
語・熟語なのか、それとも文法、構文力が足りないのか）それを自己分析して、  
弱いところを再度復習してください。

繰り返しますが、英語で最重要なのは単語・熟語です。これに穴があると、中  
途半端に文法や構文を覚えても意味がありません。

基礎単語・熟語は何度も何度も繰り返して完全に覚えてくださいね。  
それも、速読英単語や速読英熟語を使用して、長文に慣れつつ覚えて一石二鳥  
を狙ってください。

## センター試験・英語の傾向と対策

今は、多くの私大がセンター試験を導入しているのは皆さんもご存知だと思います。

今やセンターを使用していない有名私大はほとんどないのではないのでしょうか？

早慶を始めとして、中央、明治、法政、立教... 多くの有名私大が文系3科目だけで受験できるようになっています

センター試験を受けない手はありません。センター利用入試で合格を一つでも獲っていればその後かなり精神的に安定した状態で私大の入試に臨めるからです。

もちろん、3科目だけだと、9割以上の得点を要求されるところがほとんどになります。

しかし、今まで書いてきた基礎対策を徹底すれば決して不可能は数値ではありません！

センター試験というのは教科書レベルを超える出題をされることはまずないのですから。

さらに、立命館の多くの学部のように国語で現代文しか課さないところも探せば結構あります。

古文、漢文を考えなくていいのならかなり楽になりますよね

私も受験生の時は、センター利用入試で現代文だけの立命館に出願して合格しました。

現代文に自信があって、古文漢文に自信がないという方は、ぜひ立命館大学に出願することをお勧めいたします。

その他法政大、中央大の一部の学部も現代文のみになっています。

各大学の必要科目は必ず各大学のHPで確認してくださいね。

内容には十分して書いていますが、もしこの内容に謝りがあっても責任はとれません。

このデータは2005年度入試用なので、来年は試験科目に変更があるかもしれないからです。

それでは、センター試験英語の分析を始めたいと思います。

#### 大問 発音・アクセント問題(16点)

音でおぼえる発音・アクセント 600—頻度順だから速攻満点!(旺文社)  
これをしっかり仕上げ、後は過去問と模試の徹底復習をすれば十分です。

#### 大問 文法・会話・整序問題(38点)

文法問題は前述の基礎対策で十分高得点が取れます。基礎問題です  
会話文も前述のZ会出版の英会話問題のトレーニングを一冊仕上げ、過去問を解き、模試の復習をすれば十分でしょう

どの科目も模試の復習は最高の勉強法です。特にセンター試験は形式が毎年同じなのですから、模試は必ず積極的に受けて、各予備校が出版している予想問題集も必ず解きましょう。

模試 = 最高の参考書です

整序問題も同じく過去問、模試を何度も解いて、解く感覚を身につけましょう!

#### 大問 語句補充・整序・文書補充(34点)

これも上記の対策ができていれば特に恐れる問題ではないでしょう。  
どこを受けるにしても必要なものは基礎単語、熟語力、文法、構文力なのです。

大問 図表読み取り型長文読解問題（35点）

形式に慣れてないと戸惑うかもしれません。やはり過去問+模試で慣れるのがなんといいても一番ですね

上記の対策をきちんとして、模試と過去問をたくさんこなせば恐れる必要は全くありません。

大問 会話文問題（32点）

容易な問題。これも前述のZ会のトレーニングを仕上げるまでもないと思います。

とにかく慣れることが重要です。

大問 長文読解問題（45点）

早大対策をした人であれば1つも落とすことは許されないレベルものでしょう。センターの問題は基礎を確認するのに最適です。

全年度の過去問を解いて、形式に慣れると同時に基礎力がきちんと身についているかの確認もできます。

しっかり過去問は解いておきましょう！

## 英語・リスニング問題の対策

来年度から実施されるリスニングに頭を悩ませている方も多いのではないのでしょうか？

まずは、速読英単語必修編でシャドウイングをするのが一番です。

しかし、センター試験でどんな問題が出るか不安でたまらないという方も多いのではないのでしょうか？

その為に一番必要なのは各予備校の模試を全部受けることです。センター関連の模試は全て受けましょう。特にリスニングは来年が初めてなので、過去問の蓄積もないですし、模試の重要性は一層高まります。

そこでいい参考書があるので紹介致します

**灘高キムタツのセンター試験英語リスニング合格の法則 (基礎編) 英語の超人になる!**  
(アルク学参シリーズ) です。

全国屈指の進学校 灘高校の英語教師の方が書かれたセンターリスニングの対策本です。

過去問がない中、サンプル問題を元にどんな問題が出題されるか完全予測をしている貴重な参考書です

続編も出るようなので要チェック！

もちろん速読英単語のシャドウイングも継続して英語に慣れるべきです。  
これをやらないで14日完成だけやってもあまり効果はないでしょう。

シャドウイングはリスニングだけではなく、いつのまにか読解力もついてくる

お得な方法です。

センター試験のリスニング問題を予測して作られた参考書はこの本だけでしょう。

ぜひ入手して今からセンターリスニングの形式に慣れておきましょう！

最後は予想問題集を徹底してやりましょう。  
3大予備校＋Z会から予想問題集が出ています。

とにかく数をこなすことが重要なので、全部やりましょう（笑

もちろん各予備校のセンター模試も受けることを忘れずに！  
特にリスニングは模試で慣れておくのと慣れておかないのとでは大きな違いが出ますよ！

そして、長文対策の仕上げとして徹底英語長文読解（桐原書店）をやりましょう。  
この本はセンターレベルを超えていますが、私大や国立2次対策にも役立つ本なのでしっかりとやりこみましょう。

基礎を固めて、上記の問題集をしっかりこなせばセンター英語9割も十分狙えます。  
頑張ってくださいね！

いかがでしたか？

応用編はこちらのメルマガで今後発信していく予定です。

こちらの無料レポートをダウンロードされた方は自動的にこちらのメルマガに登録されますのでぜひご覧下さい。

底辺からの早大法学部合格術

<https://regssl.combzmail.jp/web/?t=df20&m=73rw>

もちろん解除はいつでも可能です ^^ ；

でもためになる情報を発信するのでぜひ購読を続けてくださいね ^^